

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **保育園運営経費**

[0148]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成 - 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市立保育所入所児童</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>保護者の就労等による児童を保育することにより子育て支援を行なう</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>保育所入所申込書により保育課へ入所の申請をする。(保育時間：午前7時15分～午後6時15分)</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市立保育所(公設民営を除く)入所児童数	人	4,413	4,197	4,148	4,500
対象指標2						
活動指標1	市立保育所数(公設民営を除く)	園	5	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	市立保育所入所率(公設民営を除く)	%	98.1	93.3	92.2	100
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	84,055	87,225	92,187	95,946
正職員人件費(B)		千円	462,197	477,135	449,748	464,322
総事業費(A) + (B)		千円	546,252	564,360	541,935	560,268

費用内訳	
22年度	報酬 43,977千円、賃金 16,961千円、報償費 25千円、旅費 155千円、需用費 28,495千円、役務費 801千円、委託料 125千円、使用料及び賃借料 670千円、備品購入費 892千円、負担金 補助及び交付金 88千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	今後の保育ニーズの多様化、地域子育て支援の拡充などに対応するため市立保育園の民営化と公民保育園役割分担を内容とする「江別市立保育園のあり方計画」の報告書が平成20年3月28日市に報告されたところである。
--------	--	-------------	---

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

児童福祉法に基づき設置している保育所の適切な運営に係る事業であり、義務的な事務事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

子育て環境の充実を図るため未就学期児童への支援として設置している保育所の安心して安全な子育て体制の整備に係る事業であり、基礎的な事務事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

経費の見直しを図りながらも保育サービスの維持・向上を図るべく創意工夫して取り組んでおり、多様な保育ニーズに対し概ね応えることができ、成果がでている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

「江別市保育園の整備と運営に関する計画」に基づき体制を整備するとともに待機児童の解消に向けた取組を推進していくことにより、成果向上の可能性はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

経費の見直しを図りながらも保育サービスの維持・向上を図るべく創意工夫して取り組んでおり、コスト削減の方向性は見出せない。